

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

1 施設の概要等

施設名	広島県民文化センターふくやま		
所在地	福山市東桜町 1-21		
設置目的	県民の文化の振興に資する。		
施設・設備	ホール（530 席）、練習室（2 室）、文化交流室（1 室）、楽屋（4 室）		
指定管理者	6 期目	R3. 4. 1～R8. 3. 31	広島県民文化センターふくやま共同企業体
	5 期目	H28. 4. 1～R3. 3. 31	広島県民文化センターふくやま共同企業体
	4 期目	H25. 4. 1～H28. 3. 31	㈱不二ビルサービス
	3 期目	H23. 4. 1～H25. 3. 31	県民文化センターふくやま共同事業体
	2 期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	(財) 県民センター
	1 期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	(財) 県民センター

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	ホール利用率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	6 期	R4	64.0%	62.0%	15.1%	△2.0%
R3		63.0%	46.9%	△8.0%	△16.1%	(74.4%)
5 期平均 H28～R2		65.0%	54.9%	1.6%	△10.1%	(84.4%)
4 期平均 H25～H27		58.0%	53.3%	1.6%	△4.7%	(91.8%)
3 期平均 H23～H24		58.2%	51.7%	0.5%	△6.5%	(88.8%)
2 期平均 H20～H22		58.6%	51.2%	△5.5%	△7.4%	(87.4%)
1 期平均 H17～H19		60.0%	56.7%	△0.7%	△3.3%	(94.5%)
(導入前) H16		—	57.4%	—	—	—
増減理由	令和4年度の利用率は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えなどから、前年度に引き続き目標値を下回ったが、施設利用の制限がなくなったことやホールの利用促進により、前年度から 15.1 ポイント増加するなど回復傾向にある。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象】
	利用者アンケート（紙）	利用者（主催者）
	【主な意見】	【その対応状況】
	駐車場を使用したい。	施設には利用者専用の駐車場がないため、隣接施設等の駐車場を紹介している。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報（必要随時）	—
現地調査及び管理運営会議 (随時実施)	【特記事項等】 燃料高騰に対する取組 【指定管理者の意見】 燃料高騰対策については、照明の LED 化による節電対策を行うなど、経費削減に係る取組を行った。 【県の対応】 燃料高騰による影響額を負担するなど、指定管理者への支援を行った。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	6期	R4	62,318		1,189	料金 収入 (決算額)	6期	R4
R3			61,129	3,379	R3	21,436			△6,263
5期平均		H28～R2	57,750	485	5期平均	H28～R2		27,699	△2,242
4期平均		H25～H27	57,265	859	4期平均	H25～H27		29,941	2,014
3期平均		H23～H24	56,406	△815	3期平均	H23～H24		27,927	△994
2期平均		H20～H22	57,221	△4,774	2期平均	H20～H22		28,921	△266
1期平均		H17～H19	61,995	△14,777	1期平均	H17～H19		29,187	△2,046
(導入前)		H16	76,772	—	(導入前)	H16		31,233	—

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	62,318	61,129	1,189	燃料高騰による増：4,675千円 新型コロナウイルス感染症に係る委託料の減：△3,486千円
		料金収入(※1)	29,645	21,436	8,209	ホール等の利用者の増
		その他収入	3,322	3,143	179	
		計(A)	95,285	85,708	9,577	
	支出	人件費	20,454	20,268	186	
		光熱水費	16,050	10,199	5,851	ホール等の利用者の増、燃料高騰による増
		設備等保守点検費	1,966	1,966	0	
		清掃・警備費等	36,319	35,251	1,068	ホール等の利用者の増
		施設維持修繕費	6,979	7,131	△152	
		事務局費	3,517	3,403	114	
		その他	3,066	3,295	△229	
	計(B)	88,351	81,513	6,838		
	収支①(A-B)		6,934	4,195	2,739	
	自主事業 (※2)	収入(C)	2,760	1,387	1,373	自主事業の増
支出(D)		7,576	5,028	2,548		
収支②(C-D)		△4,816	△3,641	△1,175		
合計収支(①+②)		2,118	554	1,564		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	通常の貸館業務に加えて、福山市主催の記念行事に合わせた伝統芸能の発表会や伝統産業展を開催し、文化鑑賞の場を積極的に県民に提供した。	地域の特色を生かした事業を展開し、県民の文化振興に貢献している。
	○業務の実施による、県民サービスの向上 ○業務の実施による、施設の利用促進	ホールの直前(2か月以内)予約利用における利用料金減免サービスを継続するとともに、スタインウェイのピアノを演奏できる事業を実施するなど、サービスの向上及び利用促進に努めた。	予約確保の増加策の他、音楽関連の事業者を構成企業に持つ指定管理者の強みを活かした利用促進事業を展開し、利用率の向上に努めている。
	○施設の維持管理	施設の老朽化が進み、不具合箇所が多くなる中、管理委託業者等関係者と緊密に連携を取り、日常点検業務や小修繕については、随時、適切に実施している。	施設関係者間で情報共有を行い、随時、不具合に早急に対処し、適切に施設を管理している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	構成企業間で連携し、各々の業務に応じた適切な人員配置を行った。	新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行い、施設運営の継続及び利用者サービスの向上に努めている。
	○効率的な業務運営 ○収支の適正	燃料が高騰するなか、照明のLED化による節電対策等を実施し、不要な支出を抑えるとともに、清掃・警備委託業務の内容の効率化を図るなど、経費削減及び収支の適正化に努めた。	燃料高騰の影響下においても、収支の改善に向け、適切に対応している。
	総括	直前予約時の利用料金減免サービスやオンライン配信利用を想定したインターネット回線の整備など、利用者数の回復に向け、施設の利用促進に努めている。	新型コロナウイルス感染症及び燃料高騰の影響下においても、感染防止・節電対策を図りつつ、利用促進に取り組んでいる。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和5年度)	インターネットの活用やマスメディアへの周知などの広報活動を推進するとともに、過去に施設利用のあった団体や企業に対して積極的な営業を行うなど、引き続き施設利用促進に取り組む。	燃料高騰については引き続き必要な支援を行うとともに、今後も指定管理者と随時情報を共有し、施設の利用促進に繋がるような事業の検討を行う。
中期的な対応	各種団体と連携し、地域の伝統文化の掘り起こし及び発表の場の提供を継続的に行っていく。	地域の活性化に向け、指定管理者と連携して、施設の有効利用について検討する。